

X線CT組合せ型ポジトロンCT装置の項の次に次のように加える。

				器 10	放射性物質診療用器具	診断用核医学装置及び関連装置	58250002	MR組合せ型ポジトロンCT装置	ポジトロンCT装置と磁気共鳴画像診断装置との組合せシステムをいう。注入又は経口投与したポジトロン放射性医薬品から放出されるポジトロンの分布パターンを描出した3次元(断層)撮像装置であるとともに、磁気共鳴画像診断装置により、2次元又は3次元の磁気共鳴画像を生成できる。両者は単独で利用可能である。情報の取り込み、画像の再構成、及び表示については、様々なデジタル技術が利用され、この構成により磁気共鳴画像をポジトロンCT装置の吸収補正に利用したり、両画像を重ね合わせることでより更に有効なデータを得ることを目的としている。	II	10-① /10-②	該当	該当				
1800		1196	242														

人工内耳の項一般的名称定義の欄を「高音急墜型感音難聴又は重度聴覚障害者の聴覚の一部回復のために用いる機器をいう。電極アレー(片側の蝸牛に挿入する)、受信・刺激装置(頭蓋の耳付近に植え込む)、スピーチプロセッサ(体外に装着し、音を電気信号に変換して受信・刺激装置に送るもの)から構成される。音響刺激機能のある機器は、音響ユニット(音を増幅・音質調整してイヤモールドへ伝達する)が含まれる。」に改める。

脳動脈ステントの項一般的名称定義欄を「拡張して脳動脈の内側に留まる支持構造で、その開存性を維持するために用いるステントをいう。例えば、ステントはカテーテルによって閉塞部に送達することができる。バルーンカテーテルの膨張又は自己拡張により、ステントは拡張して血管を支持する。バルーンカテーテルを収縮させて抜去すると、ステントは永久インプラントとしてその位置に留まる。ステンレス、ポリマ又は他の物質を原材料とする。一定の長さの連続チューブ状のものもあれば、チューブ型の足場構造のものもある。」に改める。

(参考)

クラス分類告示別表	特定保守告示	設置管理告示	類別コード	類別名称	中分類名	コード	一般的名称	一般的名称定義	クラス	GHTF	特定保守	設置管理	旧一般的名称コード	旧一般的名称	旧クラス分類	旧修理
-----------	--------	--------	-------	------	------	-----	-------	---------	-----	------	------	------	-----------	--------	--------	-----

1	2	3	別表	別表							分類	ル							種別
---	---	---	----	----	--	--	--	--	--	--	----	---	--	--	--	--	--	--	----